

令和2年6月19日

宮崎大宮高等学校弦月同窓会会員の皆さまへ

宮崎大宮高等学校弦月同窓会 会長 内藤 泰夫

入梅とともにぐずついた天気が続きますが、皆さまお変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。

本年は、新型コロナウイルスの世界的な蔓延によりまして、東京オリンピックを始めとしてあらゆる大会や催しが中止になり、人の往来が途絶え、子ども達も学校に行けない状況になるなどこれまで経験したことのない緊急事態に見舞われました。

ようやく経済活動が再開し、普段の暮らしが戻ってきつつありますが、これからは新型コロナウイルスとの共存を考えたライフスタイルが求められると言われており、今までとは違った日常生活を営む必要がありそうです。

また、会員の皆さまの中にも、医療現場にたち新型コロナウイルスと戦っておられる医療従事者の方や福祉・介護の現場で人々の暮らしを支えてくださっている方など、それぞれの立場で、日本を守っていただいている方がたくさんいらっしゃると思います、頭が下がる思いです。

さて、昨年11月に131周年の同窓会総会と懇親会を行い、皆さまと楽しく充実した会合を行うことができました。参加していただいた会員のみなさん、また、同期にお声かけをしていただいた役員のみなさん、また、運営に尽力をいただいた実行委員のみなさん、本当にありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

今年も132周年の同窓会の準備に取りかかる時期になりましたが、宮崎観光ホテルの会場に500人以上が密集する状況を考えますと、「三密」を避けることができないようです。さらに、秋には、第二波・第三波が発生するとも言われており、新型コロナウイルス感染症拡大防止を最優先に考える必要があります。

年に1度の再会を何よりの楽しみとしておられる会員の方々の気持ちに思いをはせますと、まさに断腸の思いですが、新型コロナウイルス禍の現状では、**本年の宮崎大宮高等学校弦月同窓会総会・懇親会は中止せざるを得ない**、と判断をいたしました。

何よりも皆さまの健康を守ることを優先した判断ですので、何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます、皆さまのご健康とますますのご発展をお祈りしております。